

基盤地図情報の整備・更新・活用に関する高知地域連絡協議会  
第 2 回会議への参加報告

開催日時	平成 23 年 2 月 24 日 (木) 14 時 ~ 16 時
開催場所	高知共済会館 (3F 大ホール)
主催者	基盤地図情報の整備・更新・活用に関する高知地域連携協議会事務局 国土交通省 国土地理院 四国地方測量部
出席者	別紙のとおり
議事	別紙のとおり

基盤地図情報の整備・更新・活用に関する高知地域連絡協議会第 2 回会議に (社) 高知県測量設計業協会技術委員長代理の立場で出席し、基盤地図情報の活用に関して意見を発表してきました。

この協議会は、平成 19 年 5 月に制定された地理空間情報活用推進基本法および、平成 20 年 4 月に閣議決定された地理空間情報活用推進基本計画に伴い、地理空間情報の高度活用社会の実現を目指し、空間情報の基盤ともいえる 2500 分 1 以上の大縮尺ベクトル地図の整備・更新・活用について検討し、産官学が連携し普及を図るものであります。

基盤地図情報は 25000, 2500 (現在は高知市・南国市・香美市・いの町の市街地)、数値標高モデル、測量の基準点のデータが数値データとして整備され、国土地理院のホームページより無償でダウンロードし利用することができます。基盤地図情報 2500 のデータは、都市計画図レベルのデータであり測量や設計の業務で活用できると思います。

協議会の概要は以下のとおりです。

国土地理院より基盤地図情報の整備状況や更新・活用方法、地理空間情報の活用における個人情報取り扱いに関するガイドラインおよび二次利用促進に関するガイドラインについて説明がありました。

基盤地図情報関連の情報提供では、学を代表して高知工科大の高木方隆教授より、GIS の普及に向けてオープンソース GIS を利用し、デモ的に基盤地図情報の活用について説明がありました。

私は産を代表して、基盤地図情報の説明と今後の活用方法について意見を発表しました。官からは、高知市より高知市における統合型 GIS のデータ更新について説明がありました。

最後の意見交換では、国土交通省、県、市のデータの整備状況についての説明があり、協議会へのデータ提供について議論されました。

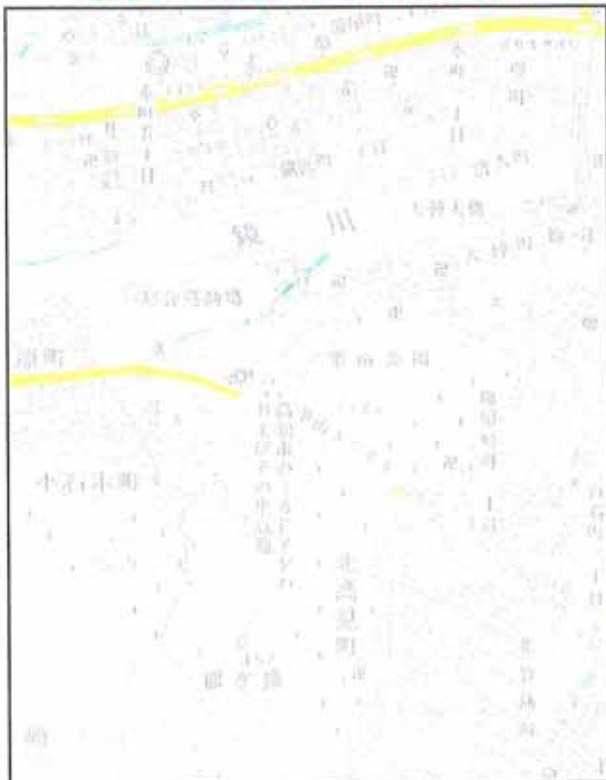
また、高知大の岡村眞教授より、災害時の被災状況 (特に人命) の把握に関して、地図と GPS 機能を活用していくことが必要との意見がありました。

# 基盤地図情報の活用 について

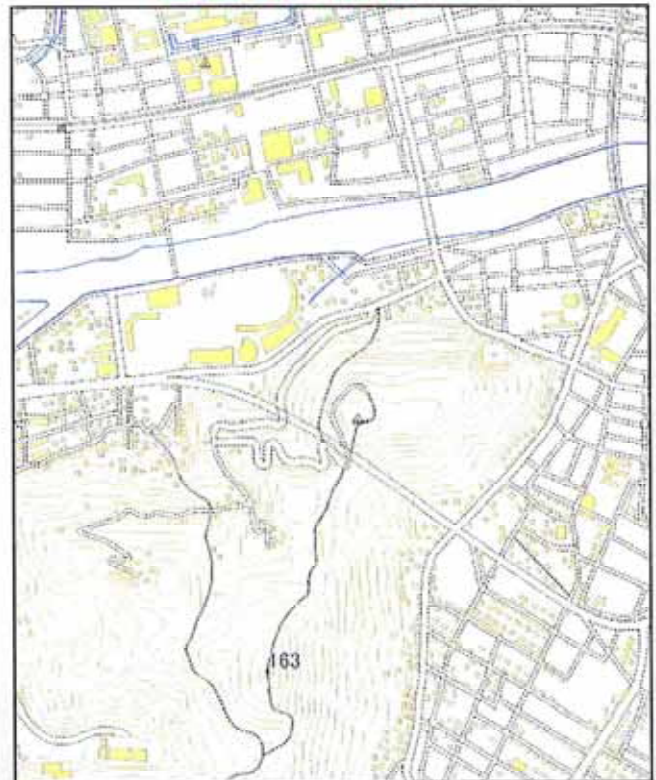
(社)高知県測量設計業協会  
酒井 寿彦

## ◆基盤地図情報25000

数値地図25000地図画像

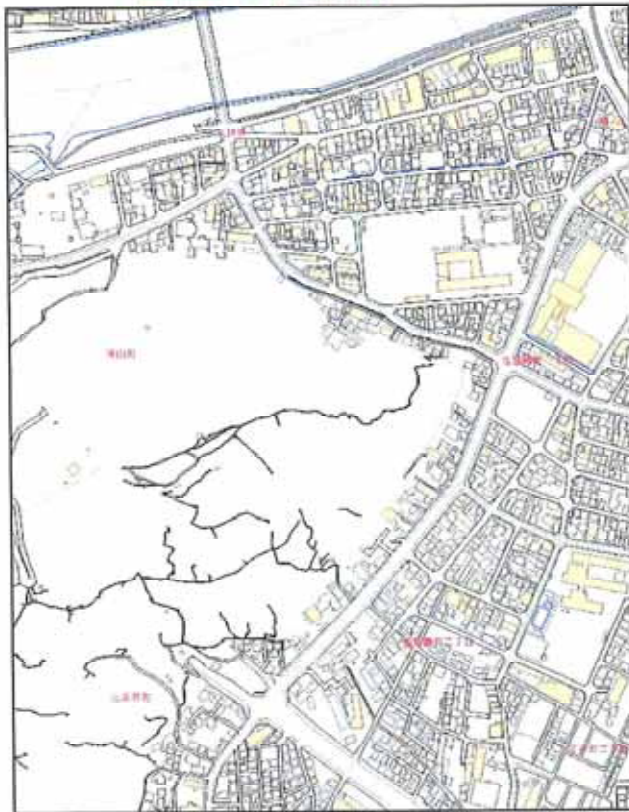


基盤地図情報25000

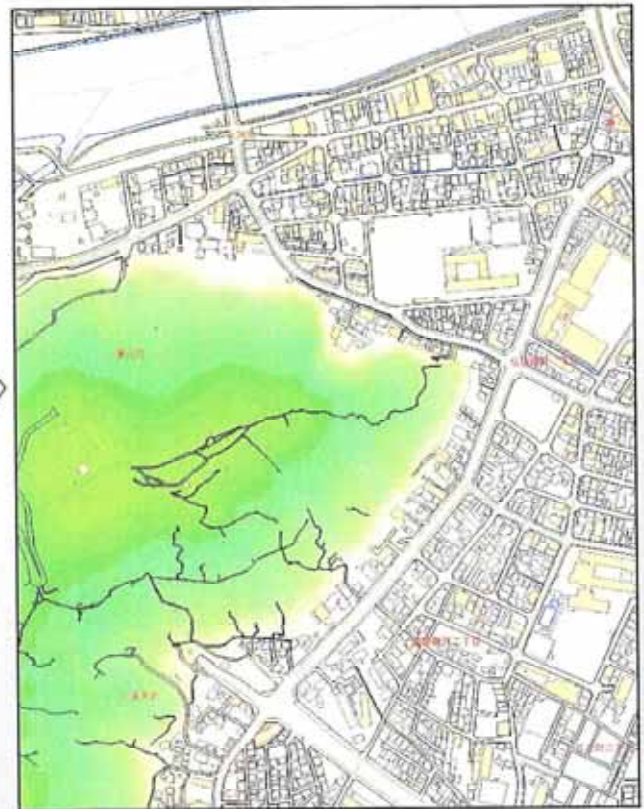


# ◆ 基盤地図情報2500および5mメッシュ標高

基盤地図情報2500



基盤地図情報2500と5mメッシュ標高



# ◆ 基盤地図情報2500



- 基盤地図情報10mメッシュ標高  
 基盤地図情報2500
- すべてのアイテム
    - ⊕ ● 測量の基準点
    - ⊕ ● 海岸線
    - ⊕ ● 公共施設の境界線(道路区域界)
    - ⊕ ● 公共施設の境界線(河川区域界)
    - ⊕ ● 行政区画の境界線及び代表点
    - ⊕ ● 道路縁
    - ⊕ ● 河川堤防の表法肩の法線
    - ⊕ ● 軌道の中心線
    - ⊕ ● 標高点
    - ⊕ ● 水涯線
    - ⊕ ● 建築物の外周線
      - 建築物
        - 普通建物
        - 堅ろう建物
        - 普通無壁舎
        - 堅ろう無壁舎
        - その他
        - 不明
      - 建築物の外周線
        - 普通建物
        - 堅ろう建物
        - 普通無壁舎
        - 堅ろう無壁舎
        - その他
        - 不明
  - ⊕ ● 市町村の町若しくは字の境界線及び代表点
  - ⊕ ● 街区の境界線及び代表点

## ◆今後の活用について

- ① GISのベースマップ(行政等の様々な管理システム背景図)
- ② 建物等に属性データを付加することにより、主題地図としての活用
- ③ 災害時等における被災状況の把握や災害復旧への活用
- ④ 事業(業務)計画の策定, 検討等の高度化
- ⑤ 測量作業における基図および土木設計における平面図としての利用の範囲拡大

### 地図(図面)作成の効率化, 省力化, コスト縮減

